

人間科学部

I 教育理念と人材育成の目的

鶴岡学園の建学の精神「清正進実」には、①真理を探究する清新な知性、②正義に基づく誠実な倫理性、③未来を拓く進取の精神、④国民の生活の充実に寄与する実学の精神の4つの意味が込められている。鶴岡学園は1942（昭和17）年、戦時中で食糧難という困難な時代にありながら、時代に先駆け、栄養教育を創めた歴史ある学園である。

学園はその後、短大から4年制大学へと発展し、現在、人間科学部は学園創立時からの伝統と少子高齢化に対応すべく、保健・医療・福祉・教育の学科が拡充され、健康栄養学科、理学療法学科、作業療法学科、看護学科、こども発達学科の5学科で構成されている。人間科学部はこれらの学科を通じ、建学の精神である「清正進実」に基づき、「豊かな人間性」「健全な社会性」「高度な専門性」を持った未来を拓く人材育成を目的としている。

II 教育課程の基本方針

人間科学部の教育課程の基本方針は次のとおりである。

① 4年間の一貫教育

人間科学部では、卒業と同時に国家資格や教員資格の取得を目的としている。このため、教養科目・専門基礎科目・専門科目を入学から卒業までの4年間で順次、調和の取れた教育課程を編成し、幅広い教養を培い、専門性を高めるための科目を配置している。

② 教養教育の重視

人間科学部では、豊かな人間性、健全な社会性を育み、高度な専門職を養成するため、社会の成り立ちや生活、文化、外国語など幅広く学修できる教養科目を配置している。

③ 学外実習の充実

高度な専門性を身に付けるには、大学で学んだ知識と技術、原理と方法を、実際の現場において実践することが必要である。本学では多くの学外実習施設や指導者と連携し、専門職養成に必要な学外実習の充実に図っている。

④ 進級・卒業要件の厳格化

人間科学部では高度な専門職を養成するため、学年ごとの必要単位・進級や卒業の要件を厳格に定めている。このため、学生は日頃から計画的な学修が必要である。

III 教育課程の構成と概要

上述の目的を達成するために人間科学部の教育課程は(1)教養科目、(2)専門基礎科目、(3)専門科目から構成されている。なお、詳細は各学科の頁で紹介する。